

北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 9 号

2017 年 7 月 13 日

道総研水産研究本部釧路水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎道南～道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- スルメイカの分布密度は低い点が多い。
- 体サイズのモードは 18cm。

調査期間 : 2017 年 7 月 4～11 日

調査海域 : 道南～道東太平洋 (図 1)

調査船 : 金星丸(函館水産試験場所属)、イカ釣機 5 台装備

1. 分布密度 (図 1)

7 調査点でスルメイカの分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) を調べた結果は、0～1.22 でした (図 1)。東経 146 度の St. 17 が 1.22 と最も高い値でした。調査海域全体の平均 CPUE は 0.33 と昨年 (1.41) を下回りました。

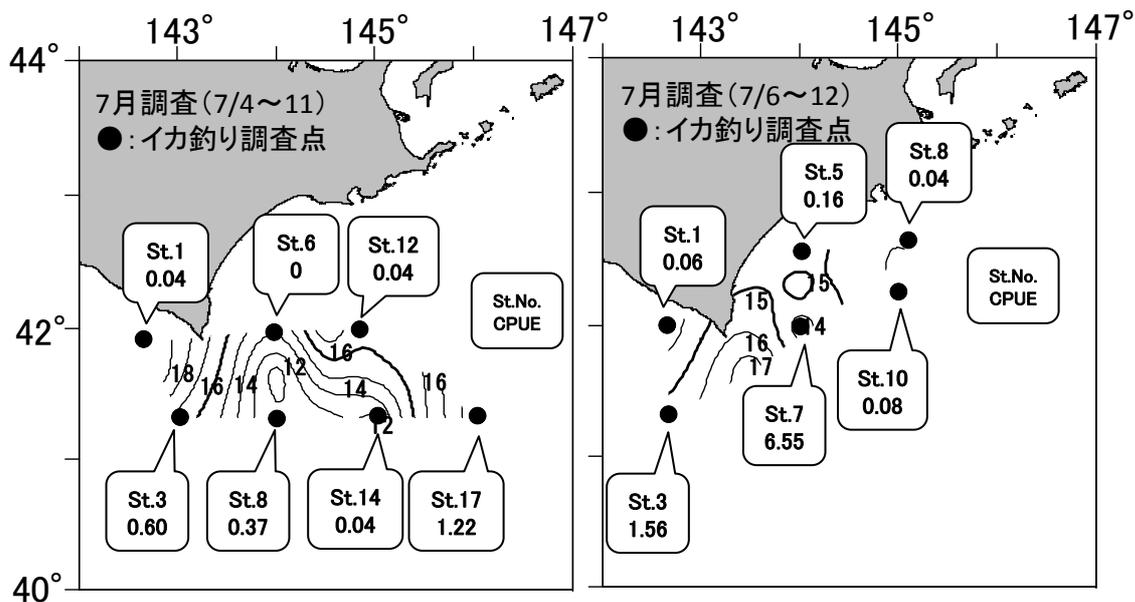


図 1 7 月の道南～道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温
(左図 : 2017 年、右図 : 2016 年)

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

2. 水温分布 (図1、表1)

調査点の表面水温は10.5~18.9℃(昨年:13.3~15.8℃), でしたが、50m深水温は2.1~11.1℃(昨年:3.9~10.5℃)と道東太平洋海域で2℃台の海域が広く分布していました。

3. スルメイカの大きさ (図3)

スルメイカの外套長(胴長)の範囲は14~20cmにありました。外套長のモード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は18cm(昨年:16cm)でした。

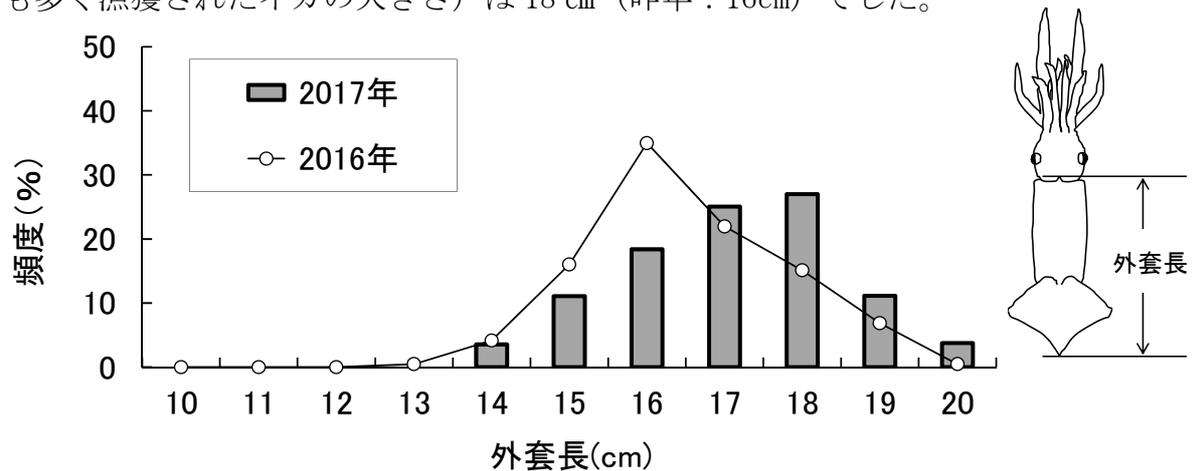


図2 スルメイカの外套長組成

表1 2017年のスルメイカ調査結果

	St.1	St.3	St.6	St.8	St.12	St.14	St.17
表面水温(℃)	18.9	15.6	13.2	11.1	15.2	11.8	18.7
50m水温(℃)	11.1	10.6	2.2	2.4	2.1	2.5	10.8
平均外套長(cm)	16.5	17.6	—	17.0	17.3	19.5	17.6

(釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)